

梶浦奈緒子 文学作品から着想した絵画作品展を行います。(橋本図書館)
第4期『和紙にえがく絵画』

文学作品から着想した絵画作品展、最後のテーマは「文字・絵画」そして「和紙」です。

私はたくさんの和紙をあつめ、調べるうちに和紙に「かく・えがく」ものとしての字と絵の境目を感じるものがしばしばありました。『糞』は、かなと漢字文化について考えた作品です。

この度の展示では、日本全国の和紙から10種を択び、和紙独特のやわらかで洗練された表情や素朴な風合いをご覧いただけるように、和紙を生かした小作品『土もの』をあらたに制作しました。『和紙にえがく絵画』展が作品の成り立ちや素材の精選についてのご興味を持っていただくきっかけとなりますと幸いです。



『糞』

糞(あつもの)は、もともと吸い物の雅語的表現。転じて、おあつらえの意。平安の歌集「深窓秘抄」から、春・桜の和歌を臨書・倣書し、連綿とした古筆の流れを枝垂桜に見立てています。

柿渋が作る照りや味わい深い色は、作品をみる角度によって明暗を変化させ、文字をよみとることの手間や絵に何が描かれているかの理解以前の違和感の発見や素材物質そのものへの興味を促してくれます。

画材：岩絵具、膠、柿渋、雲肌麻紙

サイズ：1450 × 910 mm 制作年：2009年



『土もの』

和紙も器も土地由来の文化を結集させた名工の逸品です。

美しく愛おしいものは丁寧な時間を過ごすことの豊かさを教えてくれます。

画材：岩絵具、膠、雲肌麻紙 サイズ：150×150 mm 制作年：2018年

橋本図書館をご利用の際は、入口横のギャラリー展示スペースをどうぞご覧ください。

カウンター上では、画材紹介展示(和紙)も行っています。

展示期間：平成31年1月5日(土)～3月31日(日)まで

開館時間：午前9時30分～午後8時(土・日曜日、祝日等は午後6時まで)

休館日：月曜日(1/14、2/11を除く)1/15、2/11、2/14、3/14

梶浦奈緒子 プロフィール

1986 兵庫県生まれ

2009 女子美術大学芸術学部絵画学科日本画専攻卒業

2011 女子美術大学大学院美術研究科修士課程美術専攻日本画研究領域修了

2016 女子美術大学日本画研究室専任助手

現在 相模原市あじさい大学講師等